

2015年2月25日

報道関係者 各位

鍵はカバンやポケットに入れたまま。  
ハンズフリーで、ドアの解錠ができる  
利便性とセキュリティ性を同時に実現した  
ハンズフリー認証システム発売

オプテックス株式会社  
滋賀県大津市雄琴5丁目8-12  
取締役会長兼代表取締役社長 小林 徹  
コード番号 6914 東証第一部

オプテックス株式会社（本社：滋賀県大津市、取締役会長兼代表取締役社長：小林 徹、以下「オプテックス」）は、専用のタグ(\*1)をカバンやポケットに入れたままでも、ドアに近づくとタグを認証し、自動ドアを解錠できるハンズフリー認証システム「ACCURANCE - TAG」を4月10日より発売します。

\*1 タグ：無線・非接触で認証できる鍵



昨今、集合住宅やオフィスビルなどでは、セキュリティを確保するために、共有スペースからの入館時、鍵やテンキー、ICカードによるオートロックシステムの採用が主流となっています。これらのオートロックシステムは、鍵を差し込む、テンキーを入力する、ICカードを受信機にかざすという操作が必要でした。

今回、当社が発売するハンズフリー認証システムは、タグを所持している人がドアに近づくだけで自動ドアの解錠ができ、荷物やベビーカーなどで両手がふさがっている時でも、スムーズな出入りが可能となります。また、タグを認証するアンテナ(\*2)から発する電波の範囲を高精度に制御できるため、入館後、タグを所持している人がドアから離れているにもかかわらず、ドアが開きっぱなしになってしまうという課題を解決しました。これにより、無駄開きによる不審者の侵入を軽減し、利便性とセキュリティ性を同時に実現することが可能となりました。

\*2 タグ認証アンテナ：電波を発信し、登録された専用のタグを認証する装置

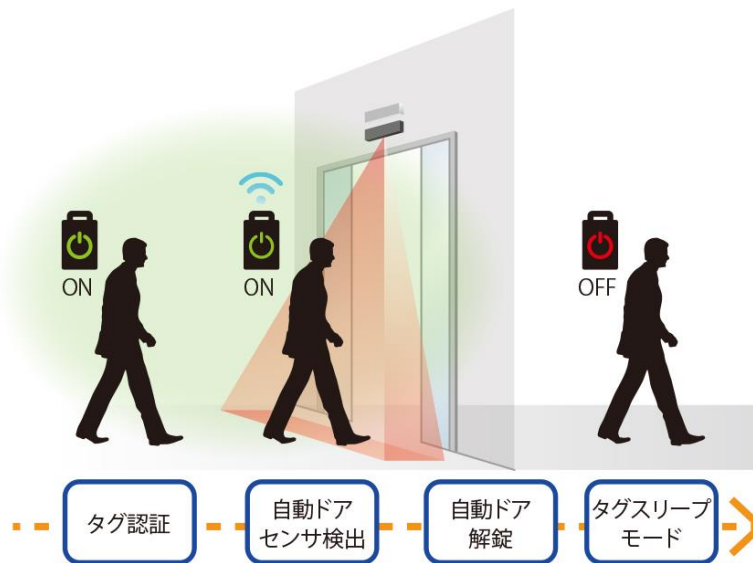
## 【特長】

### 1. 認証アンテナと自動ドアセンサの組み合わせで不要なドアの開閉を防止

タグへ起動信号を送るアンテナを自動ドアの共有スペース側に、タグ認証が不要というスリープ信号を送るアンテナを室内側に設置することで、タグを持っていて室内側の自動ドア近辺に滞っている人による無駄開きをシャットアウト。

さらに、入館時、タグ認証と自動ドアセンサの両方を検出して初めてドアが開くアンド検出機能を搭載することにより、入る意思のある人に対して自然な通行動線で認証が可能。

## フロー図



### 2. 不審者滞在検出でセキュリティ性アップ

タグを持たない人が一定時間自動ドア前に滞在したときに、警告（パトライト、音声、管理室への連絡）する機能を搭載。（特許出願中）

### 3. 既存のドアに後付可能

大規模な施工が不要で後付ができるため、既存の自動ドアにも簡単に導入。

### 4. 選べる2種類の運用タグと、運用タグの登録・消去設定をマスタータグで実現

ノーマルタグ：タグを携帯すれば、リーダーをアンテナにかざすことなくハンズフリーで認証。

ボタン付きタグ：ボタンを押して強制的に認証。ボタンを押さない場合はハンズフリーで認証。

タグの登録・消去：マスタータグで、ビルオーナーがその場で簡単にタグの設定ができ、すぐに運用が可能。（特許出願中）

オプテックスは、「安全・安心・快適」な入退室システムで、集合住宅やオフィスのセキュリティ、高齢者施設や病院での徘徊防止、食品工場などのフードディフェンスに貢献してまいります。

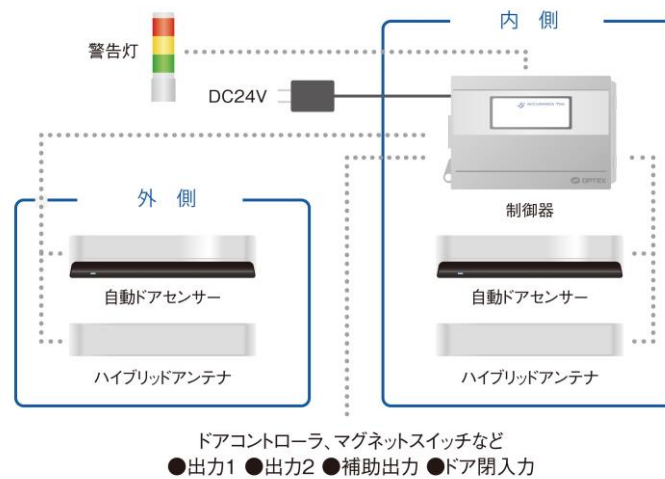
【販売目標】 3年間 5億円

【参考価格】 1開口（1セット）あたり 約60万円（タグは別途）

【利用シーン】 マンション、オフィス、食品工場、介護施設／病院、倉庫など



【システム構成図】



3月3日（火）～6日（金）に東京ビッグサイトで開催される「SECURITY SHOW 2015」に、ハンズフリー認証システムを展示いたします。会期中、取材をお受付しておりますので、ご来場の際はぜひ弊社ブース（小間番号：東2・3ホール SS3220）へお越しくださいませ。

**【本件に関するお問い合わせ先】**  
 オプテックス株式会社 管理本部 広報・IR室 近藤 ゆみ  
 TEL : 077-579-8000、Direct : 080-4851-1366  
 URL : <http://www.optex.co.jp/>